

2023.2.14

Fw:東北Fan Meeting 2022東北デジタル創生塾Vol.9
地域プロモーションでのデジタル活用の道を探る

「地域ブランド×地域産業データ×地元人材を 活用した地域プロモーション」

宮古市 企画部 企画課 地域創生交流推進室 中居裕美



自己紹介



中居裕美

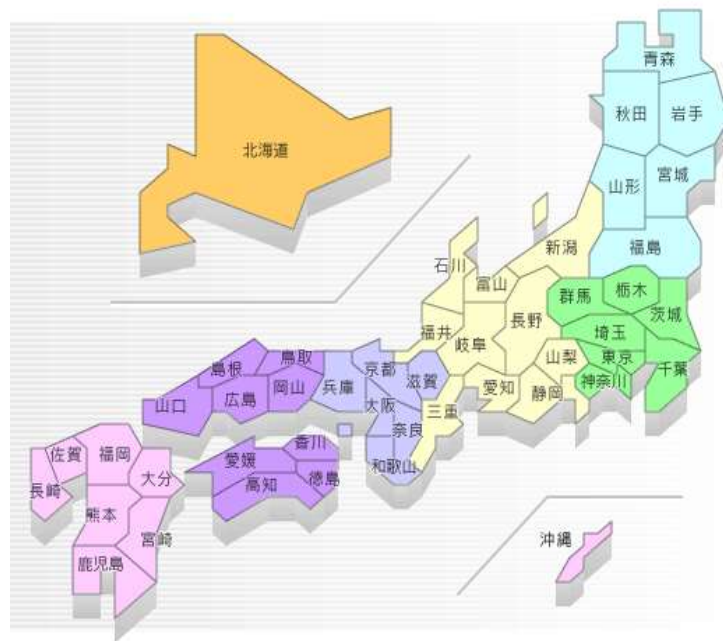
宮古市 企画部 企画課
地域創生交流推進室 室長

■ 経歴

岩手県宮古市出身。小・中・高・短大と全て宮古市内の学校を卒業した生粋の宮古人。
短大卒業後、市役所に入庁し、契約、農林、総務、国保などの部署を経験。
現在は企画部門で地方創生のほか、移住定住、空家、結婚支援、地域間交流、国際交流など、多種多様な業務を担当している。
趣味は、道の駅カードと切符の収集、万年筆、車など。
好きな食べ物は、魚のフライ(特にアジ)。

宮古市の紹介

- ・H17.6.6 宮古市、田老町、新里村が合併
- ・H22.1.1 川井村を編入
- ・本州最東端
- ・面積 1,259km²(全国8番目に広い市)
東西 64Km 南北 50km
高度 0m~1,917m
- ・人口 47,929人(R5.1.1現在)
- ・「三陸復興国立公園」の中心



景勝地「浄土ヶ浜」



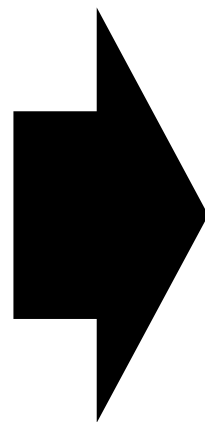
市の魚「サケ」

宮古市の人口



69,587人

1995年



47,929人

2023年

1.1現在

■ ここからの流れ

Step1

背景

Step2

地域プロモーションの取り組み

Step3

今後の展開

Step1

背景

- 1 人が人を呼ぶ現象のはじまり
- 2 地域色「浄土ヶ浜エターナルグリーン」の誕生
- 3 地元の企業、商材、サービスなどのデーター一覧がない

1 人が人を呼ぶ現象のはじまり

東日本大震災

復旧・復興のために
大人達が頑張る姿

NPOみやっこベース
誕生

若者の社会参画を目的に活動
大学生インターンシップ受入
令和4年度「新しい東北 復興・創生の星顕彰受賞」復興庁

震災から約10年後...

震災当時子供だった若者が戻ってきた！
インターンシップに参加した若者が宮古に移住した！
宮古で活躍する若者に惹かれてさらに若者がやってきた！

Step1

背景 ① 人が人を呼ぶ現象のはじまり

■2022.11.21開催 東北暮らし発見塾(宮古校)

Fw:東北 Fan Meeting 東北暮らし発見塾(宮古校)

交流からチャレンジを
生む仲間になる

岩手県移住 # 2拠点生活 # 地域で働く
移住者の話 # 移住者と交流

zoom online開催 

11/21 Mon. 19:00-21:00

宮古市 市長
山本 正徳

現地コーディネーター
早川 輝

移住者
瀬戸里奈

移住者
八島 悟

移住者
八島 彩香

モデレーター
原 亮

ソトコト編集長
指出一正

人が惹かれるのは、観光地だけではない



人もまちの大事な資源

2

地域色「浄土ヶ浜エターナルグリーン」の誕生

どうやってシティプロモーションを行う？

「〇〇のまち 宮古市」 鮭？ さんま？ タラ？



決め手がない



一般社団法人日本地域色協会との出会い

「地域資源から色を選定し、
それらの色と物語を伝えます」

一般社団法人日本地域色協会HPより



新遊覧船の船体カラーに
浄土ヶ浜の色と物語をのせる



市民参画による地域色選定が始まった

■ 地域色を活用したシティプロモーションの取り組み 【令和3年度～】

■ 取り組みの概要

宮古市と一般社団法人日本地域色協会は、宮古市のシティプロモーションの一環として地域資源をテーマとした「地域色」の決定と色の活用の拡大に取り組んだ。

地域色は、地域資源である浄土ヶ浜をテーマに「浄土ヶ浜エターナルグリーン」と決定。

色の決定にあたっては、候補色の選定から決定まで市民参画を意識。有識者や関係者へのヒアリングに始まり、市の広報やHPなどを通じた候補色の募集、絞り込み、決定までの全ての過程を市民参画で行った。



浄土ヶ浜エターナルグリーン記者発表



市民参画による地域色の選考

清く澄んだ海に溶け合う、

常緑の松と白い岩肌。

この世の浄土かと思いがう風景は
永遠という時間を刻むかのよう。

本州最東端の地を擁する、岩手県宮古市の浄土ヶ浜。

この地を代表する景勝地は

「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆した

宮古山常安寺七世の雲鏡庵淵和尚が名付け親と伝えられます。

透明度の高い海、常緑の赤松、林立する白い流紋岩が調和する風景は、

約5200万年前から変わらぬ、自然が織りなす美しき一枚絵です。

自然が作り上げた「浄土ヶ浜エターナルグリーン」は、

良き時も試練の時も共にあった市民の心の拠りどころとして

人々の想いを未来へとつなぐ色となります。



画像提供 宮古市

COLOR 13

浄土ヶ浜 エターナルグリーン

Jodogahama Eternal-green

DIC-175

C88 M0 Y52 K0

RG 167 B148



浄土ヶ浜

三陸復興国立公園・三陸ジオパークの中心に位置する岩手県宮古市の景勝地。翠の木でもあるナンブアカマツの緑と岩肌の白、海とのコントラストが映え、見る人の心を惹きつけます。地名は天和年間（1681～1684）、雲鏡庵淵和尚が「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆し七言絶句を詠んだことから名付けられたといわれます。また、1917年7月に訪れた宮沢賢治は「うるはしの海のピロード長布らは涙光のはまに敷かれひかりぬ」という歌を詠みました。

具体的な活用事例



浄土ヶ浜遊覧船「宮古うみねこ丸」



万年筆インク



地酒「amane」

3

地元の企業、商材、サービスなどの
データー一覧がない

「宮古市の食材一覧が欲しい」

「飲食店マップを作りたい」

「ふるさと納税になりそうな商品を探したい」

「〇〇を扱う業者向けに支援策を検討したい」

「〇〇とマッチングできる商品が欲しい」



その都度、担当が探すしかない。
個人の知識と経験に頼る部分が多い。



地域産業データベース構築による情報集積

Step2

地域プロモーションの取り組み

Step2

地域プロモーションの取り組み

情報発信

データベース

人材育成



目指すのは

外貨獲得

Step3

今後の展開

まちが稼ぐエンジンをつくる

エンジンとは...

- デジタルスキルを持ったビジネス人材
- これまで地域内になかった職種
 - 商品企画
 - イベント企画
 - デザイン
 - サイトデザイン
 - プロダクトマネジメント など
- 地域商社やふるさと納税中間事業者

Step3

今後の展開

■宮古市地域プロモーション事業事務局 事務局員



吉浜 知輝

よしはま ともき

宮古市地域おこし協力隊

1998年8月岩手県宮古市生まれ



平井 匠

ひらい たくみ

神田外語大学 学生

2001年埼玉県生まれ



上之原 良美

うえのはら よしみ

宮古市地域おこし協力隊卒業生
株式会社カルティブ

1996年千葉県生まれ、宮古市在住



鳥取 和叶

とっとり わかな

株式会社カルティブ

2004年1月岩手県宮古市生まれ



宮古市いいイロ百貨

いわて宮古市のいいイロ、いいモノ、いいヒト。



「三陸宮古のいいイロ」で検索

本日はありがとうございました。